耕作放棄地への桑の植樹を通じたネットワーク形成

あいち環境塾卒塾生活動事例紹介
オープン講座成果発表

第10期生　　鈴木　友代

2016年　あいち環境塾　第10期生として入塾

2016年春に転機

素晴らしい講師陣の講座、環境に関する人材育成

土曜日に受講できる

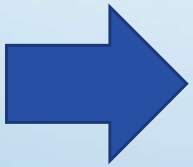
チーム活動テーマは「生物多様性」

環境を多角的に学び統合を目指す塾

- できない言い訳はしない
- 自分で学ぶ
- 塾生はお客様ではない。
- 主体性を持つ
- 5W1H　そうなるのはなぜ？誰がうれしいのか？など
- 多様性のあるメンバーとの統合を図る（醍醐味！）

学びを通してその後の自分に影響を与えたこと

- 時間軸で考える
- ライフサイクルで考える
- 常識・非常識で考える
- 地域で考える
- 雑学的に考える



- ライフワークに対しての主体的に取り組むようになった
- 制限やハードルを設けない
- 環境課題に対して、善意の押し売りをしない
- 地域で共同創造していく
- とにかく楽しむ

桑との出会い

身近な植物の恵みを心身の健康に役立てたい

↓

桑　＝「マルベリー」 メディカルハーブの一種

↓

2019年「マルベリークラブ中部」 NPO団体に入会

桑の木、見たことありますか？

桑畑の今昔

蚕糸業が最盛期　1930年代

養蚕業　　221万戸（農家の40%　）

桑畑面積　71万ha

（農地の25%）

2008年

1000戸

2000ha。

2013年　25000分の1地図記号

廃止！

愛知県

養蚕業（蚕飼育と桑栽培）　1916年　全国2位

桑畑面積　　2004年以降　1ha

現在では養蚕の「よ」の字も聞かれないくらい下火に。

柿、梨、ブドウ、モモなどの生産へと変遷

（農林水産省：養蚕統計）

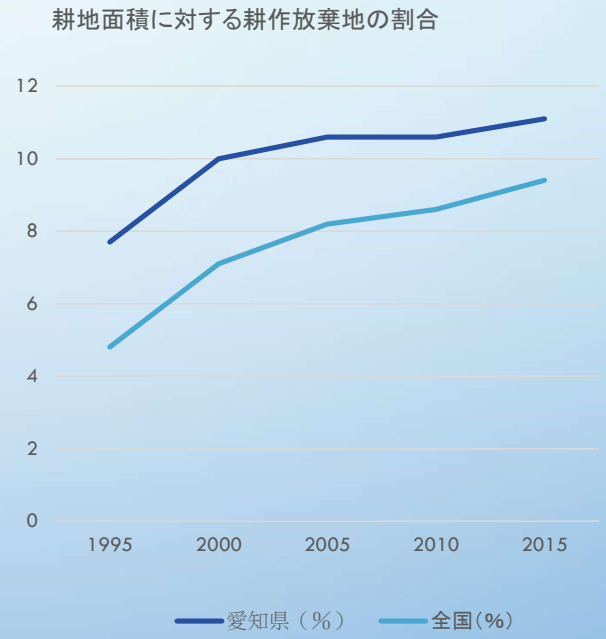
耕作放棄地の現状

耕作放棄地とは、所有されている農地のうち過去1年以上作付けされておらず、この数年の間に再び作付けする考えのないもの。
（遊休農地：農地法の用語　とほぼ同じ）

2015年

全国で42万ha：愛知県の8割の面積に匹敵

愛知県で8500ha：名古屋市の1/4に匹敵



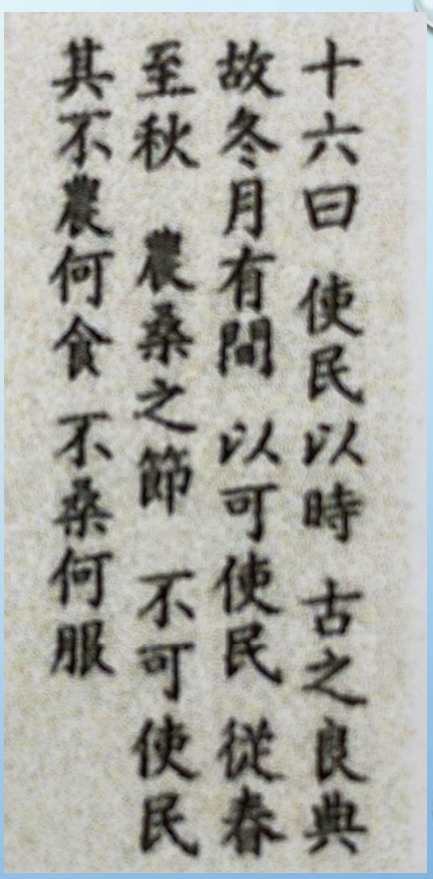
出展：農林水産書統計部公表　耕地及び作付け面積統計・農林業センサスよりグラフ化

桑の魅力①

・世界的な歴史ある植物

・日本古来からの歴史・文化と関わる

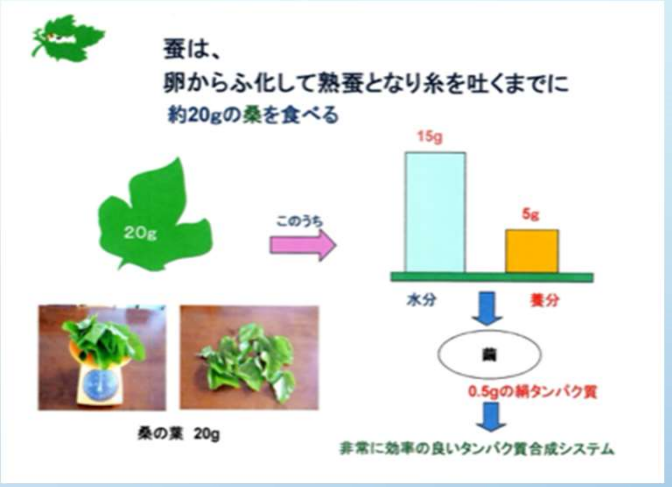
・現在も漢方の生薬として実、葉、若枝、根が利用


十六曰 使民以時 古之良典
故冬月有閒 以可使民 従春
至秋 農桑之節 不可使民
其不農何食 不桑何服

桑の魅力②

・蚕の食草、シルクの可能性

・里山・里地の構成要素、
栽培が簡単



岡谷市立岡谷蚕糸博物館資料:「桑の秘密」より抜粋

童謡　あかとんぼ2番の歌詞
山の畑の桑の実を小籠に摘んだはまぼろしか

健康食材として栄養豊富な桑の葉

桑葉の人体へのはたらき

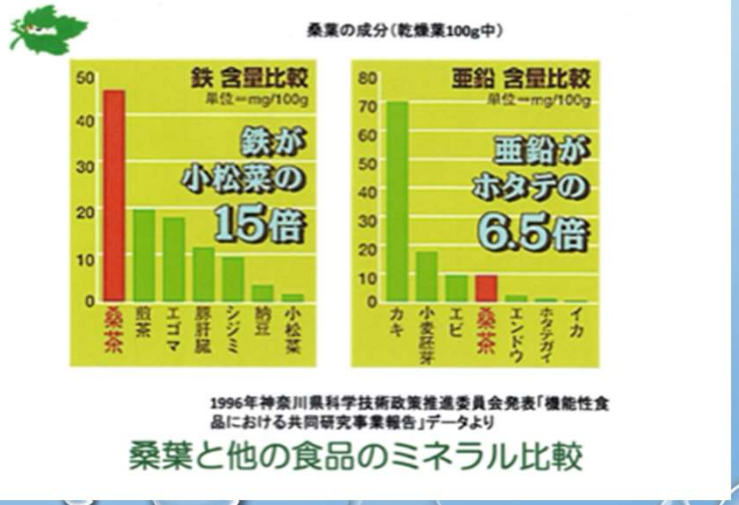
- 糖の吸収抑制（1-ディオキシノジリマイシン: DNJ）
- 血圧降下作用（γ-アミノ酪酸: GABA）
- 肝臓機能強化（アラニン）
- 動脈硬化抑制（クエルセチン-3-マロニルグルコシド: Q3MG）
- 血中コレステロール値改善
- 中性脂肪値改善
- 体脂肪蓄積抑制
- 内臓脂肪蓄積抑制
- 発ガン抑制効果
- 整腸作用

食品とした場合の桑葉の特徴

(1) 高タンパク・高ミネラル

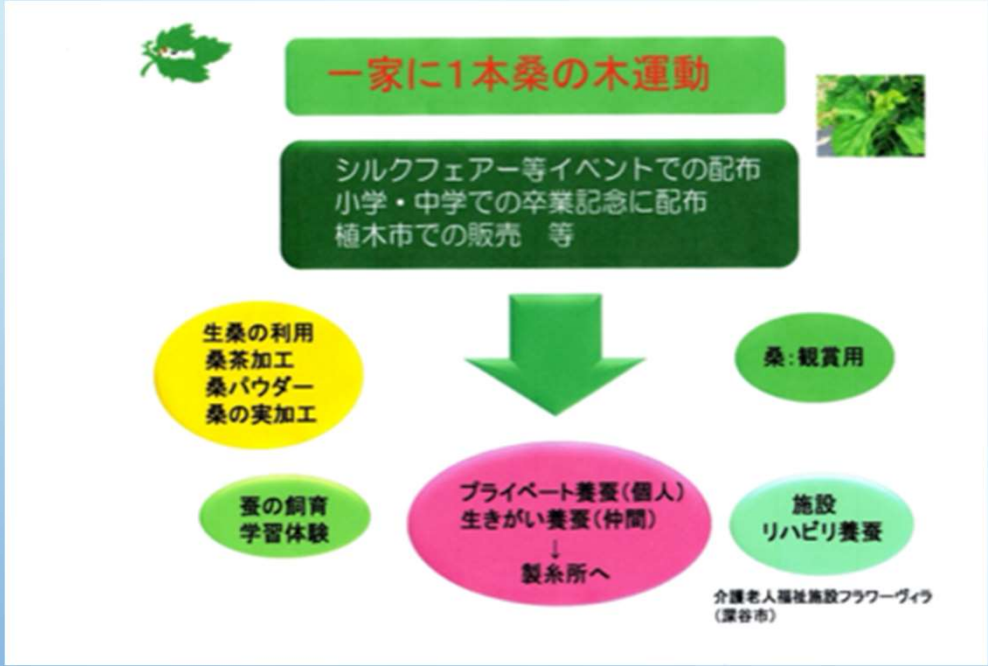
(2) 食物繊維が豊富

(3) 健康食品としての効能



岡谷市立岡谷蚕糸博物館資料:「桑の秘密」より抜粋

多方面で利用可能な桑



岡谷市立岡谷蚕糸博物館資料:「桑の秘密」より抜粋

桑に関する愛知県内での活動紹介

NPO法人マルベリークラブ中部

2006年より14年間

8000㎡　1000本植樹

桑茶・桑パウダーに加工・販売

桑・蚕・繭の環境教育プログラム

活動に共感、2019年に入会

今後の希望

- 県内全域の耕作放棄地で活動を広めたい
- 地域の資源にしたい

アイデア・実践　その①

地元の大学と協働

↓

桑の葉の機能性についての研究が実現、（2020年4月～）

食品としての利用を視野に入れている。

↓

地元のブランド食品化を目指す。

アイデア・実践　その②

連携グループのネットワーク

↓

地元（みよし市内）で活動拠点を作ろう

↓

「みよし赤とんぼ倶楽部」をスタート（2020年3月）
300坪に30本の桑の木を植樹

みよし赤とんぼ倶楽部

アイデア・実践　その③

あいち環境塾卒塾生地域実践活動

12/6「桑フォーラム」開催し、

県内の連携グループ、桑に関心のある人と交流・意見交換

桑フォーラム開催（12/6）

コロナ禍の中、対策を講じて実現できた。
桑に関わる多様なグループの交流によって
未来へ続く希望の道が見えてくる。
今後も行っていきたい

愛知環境賞優秀賞受賞！

NPO法人マルベリークラブ中部

14年間の活動実績により、愛知環境賞2020　優秀賞受賞！

この活動に感銘し、応募を担当した。

受賞という成果が出たことにより、愛知県内での活動への継続力、推進力を得た。

今後は賛同グループとの連携をさらに深め、地域の資源としていく。

あいち環境塾の卒塾生として実感していること

分断した立場

狭い視野

カテゴリー化

私、という人間として

地域課題に取り組む

多元的　ライフワーク

行動実践・主体的な取組

私の好きな里山・雑木林のように…

ご清聴ありがとうございました

桑が持続可能な社会の架け橋になりますように…